

湘南大庭地区社会福祉協議会

福祉のたより

事務局 藤沢市湘南大庭市民センター 電話 (87) 1111

湘南大庭地域の人口 31,470人 世帯数 11,537世帯 (2007年7月1日現在)

育てよう 広げよう 福祉のこころ

社会福祉協議会(略して「社協」)は、私たち地域住民が自主的に参加して組織をつくり、活動に必要な資金を調達し、お互いに役割を分担し協力して活動を行い、地域の福祉を増進することを目的とする民間団体です。

私たちの社協を私たちの手で協力して育み、湘南大庭地区を福祉のゆきとどいた地域にしようではありませんか。

子育て支援活動・サークルの紹介

今回の「福祉のたより」の特集テーマは「子育て支援活動・サークルの紹介」です。

街の中に子どもたちの声が溢れるのは、地域の活力源です。

地区内にも子ども達のために活動している団体は数多くありますが、民生委員児童委員・青少年指導員・地区内小中高등학교の校長先生等からなる青少年育成協力会は代表的な団体といえるでしょう。

子ども達の健やかな成長のためには、保護者に対する子育て支援に始まり、育ち盛りの子ども達に対してはスポーツ活動や地域文化活動を通しての豊かな感性を養う体制作りが大変重要だと思えます。

子ども達は自分の住む地域を選択出来ないことから、自分の地域が「心の故郷」になるべく、力を注ぐのも私達のつとめでありです。

子ども達を地域で育てていく方策の一つとして、学校・家庭・地域三者連携事業がありますが、湘南大庭では「子どもサポーター会議」の名称で、「地域に飛び出し!地域の一員として、地域でなつく子」を合い言葉に活動しています。

また、子ども達の安全対策として子ども安全パトロールや、学校

ボランティア等の活動も注目すべきことですね。

なお、子ども達を取り巻く環境の変化から本年度放課後における子どもの安全で健やかな活動場所を確保し、総合的な放課後対策として実施する「(仮称)放課後子どもプラン推進事業」のモデル実施に向けて準備が進められています。

この事業には各家庭の理解と協力、そして学校と地域の方々の協力がキーワードとなりませんが、地域社会全体で教育に取り組む体制を整備する事業でもあることから、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

子育てサロン「びよびよ広場」

6月19日に市民センターの子ども室を訪ねました。

民生委員の方々が掃除の最中で、部屋のすみずみや砂場の柵までと細かいところまで気を遣っていました。

9時30分過ぎ、お母さんに連れられた子ども達が続々と集まりました。

この日は特に多く、36組の親子で子ども室のテラスや砂場までが一杯になり、子ども達やお母さん方の賑

やかな声で溢れました。

そして、今回から子ども服のリサイクルが始まったとのこと。子ども服はあつとつという間に着れなくなりますが、(お下がりを)上手に利用しあつていくのもいいなあと思えました。

お母さん方にお話を聞いてみたところ「ここは安心して子どもを遊ばせることが出来るし、他のお母さん達といろいろな情報交換も出来るので、月に2回はやってほしい」という意見が大半でした。

民生委員さんは大変とは思いますが、検討してみてくださいね。

何よりも民生委員さん方の眼が、自分の孫を見るようにとても優しいものであったことが印象的でした。



おもちゃのへや メリーゴーランド

※ハンディを持つ子ども達も楽しく過ごせる場所です。

心身にハンディを持つ子ども達も、親やボランティアの人達とおもちゃで遊びながら、楽しい時を過ごしています！

利用できる人は、原則としてハンディのあるお子さんとその兄弟姉妹です。必ず保護者と一緒にご来場ください。

子ども同士のふれあいや保護者間の交流等、とっても楽しいですよ。(希望する利用者にはおもちゃの貸出しも行っています。)

◎活動日《無料》

毎月第2土曜日

(午前10時～午後3時)

◎利用会場

市民センター1階 和室



大庭ジュニアジャギー

※小学生中心のジャズ体操。

発足後まもなく20年を迎えますので、親子二代はもちろん、かつては三代で参加されていた方もおります。

子ども達には、身体を動かす楽しさ、集団演技による仲間同士のつきあいの楽しさを感じてもらい、更には協調性や社会性の向上につながって欲しいと思っています。また、保護者も衣装作り等を通じて顔を合わせる機会も多く、交流の場になっているようです。

◎活動日《月会費は千円》

毎週土曜日

(午前9時～11時)

◎利用会場

市民センター 1階 体育室



小糸保育園「わくわく会」

※高齢者との世代間交流

7月5日市立小糸保育園を訪ねました：この日は毎月1回水曜日の午前中に行われる65歳以上の高齢者と幼児のふれあいの日で、民生委員児童委員2名と高齢者が5名参加されました。

ちょうど七夕が目前で、子ども達が短冊を作ったり、歌を歌ったりして七夕まつり一色でした。

園長先生からは「地域とのつながりを強める子育て支援として園庭開放をしているので、ぜひ地域の皆様に利用してほしいし、誰でも気軽に遊びに来てほしい。」とのことでした。



かぶとむし

7月28日、30度を超す真夏日。湘南大庭市民センター体育室にボランティアサークル「かぶとむし」を訪ねました。

このサークルは、障害を持つ子ども達のより良い成長を願い、25年前に10名でスタートしました。

活動内容は体操指導、ハイキング・クリスマス等の年間行事とともに、社会活動としてふるさとまつりへの参加も行っています。

当日は、毎回土曜日に行われている体操指導の日。まずは身体ならしに、軽いランニングが始まりました。普段の運動不足を補うためにも、とても貴重な時間だそうです。

その時、別室では和やかな雰囲気の中で、お母さん達が来週丹沢で行われるキャンプの打合せ中。6名のボランティアの方がサポートしているので、安心してミーティングの時間を過ごせることでした。

体育室に戻ってみると、休憩を皆さんで自由時間。ボランティアの方とバドミントンや好きな鉄道の話に夢中になったりと、あちこちに笑顔が一杯でした。

◎以上に関するお問い合わせは地区社会福祉協議会事務局(湘南大庭市民センター地域担当)までどうぞ。



主催 湘南大庭地区青少年協
協力 湘南大庭地区社協
湘南大庭公民館

子どもまつり 7月21日(土)



夏休み初日。湘南大庭市民センターで「子どもまつり」が行われました。
参加者は地区内小学生348名。当初300名を予定していましたが、参加者は年々増えているとのこと。早速、各会場を回ってみました。

最初に訪れた「カラーキャンドル(ろうソク作り)」、広場のシャボン玉遊びはもう子ども達でいっぱい。
その横で七色のかき氷を「自分で作ったんだよ!」と得意げに見せてくれる子がいました。
様々な色の



シロップで水玉模様を描いたそのかき氷は、いつもの何倍も美味しかったことでしょう。
他の会場ではオセロや囲碁の対局が始まっていました。



指導する男子中学生は「時には負けてあげないと」とちよつと気配り。
小刀を使つての竹とんぼ作り、グループ対戦のカローリングなども、大人とそれを学ぶ子ども達の真剣な眼差しは、心地よい緊張感を与えてくれました。
帰りがけ、玄関ロビーにたてられた大きな笹の葉飾り。その短冊に願い事を書かせてもらいました。
《子ども達が希望の道へ進めますように!》

☆学校長との情報交換会

6月25日

湘南大庭地区内の小・中・高等学校長との情報交換会が、地区社協と防犯協会の共催で行われました。

社協および防犯協会の主要事業の説明後、各学校長から児童・生徒の生活状況の報告と併せて、子ども安全サポーター等ボランティアに対する謝辞が述べられました。
「地域住民の皆様が、学校に目を向

けてくださっているので子ども達の登下校時の安全が守られていると思います。これからも子ども達の安全のため、防犯体制を一層強化していただきたい。」との意見が出されました。
また、今秋以降に小糸小学校の空き教室2室を活用した「放課後子ども教室推進事業」について説明がありました。今後地域の理解を得るための説明会も予定されているようです。

日赤社資の結果

共同募金の予告

去る5月1日から31日まで、「日赤社員増強運動」が全国的に実施され、湘南大庭地区でも多くの浄財が集められました。
(一、七二〇、三五九円)

皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます。

なお、10月には「赤い羽根」、12月には「年末たすけあい」の両共同募金が、それぞれ実施されますので、よろしくお願い申し上げます。

※今後の事業予告

★地区敬老会

9月15日(土) 80歳以上の地区内在住者をご招待します。

★福祉バザー

10月27、28日(土・日)
寄贈品の提供とお買い上げにご協力ください。

★介護予防教室

9月27日、10月18日(毎週木曜日)
50歳以上の地区内在住者が対象

★介護セミナー

11月6日、12月11日(毎週火曜日)
「家庭介護の入門」コースです。

友愛チームの活動(その2)

★高齢者の心と身体について
江戸時代に仙涯和尚という人が、高齢者の心と身体について『老人六歌仙』として次のような歌を作りました。

「からだ」
しわがよる ほくろができる 腰まがる 頭がはげる 髭が白くなる 手は震える 足はよろつく 歯は抜ける 耳は聞こえず 老眼になる 身につけるものは 頭巾襟巻杖がね 温石(ホカロン) 尿瓶(しびん) 孫の手

「こころ」
聞きたがる 死にたくないと思う 寂しがる ころろは曲がる 欲深くなる くだくなる 気短になる 愚痴をこぼす 出しやばりたがる 世話をやきたがる またしても同じ話に 子を褒める 達者自慢に人は嫌がる
いかがですか? 現代人にもそのまま当てはまる歌だと思いませんか? 友愛チームの基本は、まず良きお話相手になること。しかも聞き上手になることです。

高齢者のつどい

6月23日(土)

梅雨とは名ばかり、真夏さながらの暑い日に、60歳以上の参加者が市民センター体育室に21名集まりました。

皆さん元気ハツラツで、どの顔も大変楽しそうです。

西島社協会長の「参加者はもちろん、出演者や準備をする人にも高齢者が多い。人は出会い・ふれあい・支え合いでいきたいものです。」の言葉にうなずいていました。

今回の出演団体紹介です！
まず第一部

★「大庭ジュニアジャギー」

小学生中心のジャズ体操。ショッキングピンクでフリフリのキャミソールに白いパンツで登場。《ひよっこりひよっようなん島》や、はっぴを羽織って《ソーラン・ラッセーラ》を踊ってくれました。参加者は孫の発表会をみるように目を細めていました。

★「音色の会」

三味線に合せ参加者は懐かしい曲を楽しそうに唄っていました。出演者も高齢者ですが、背筋が伸びて大変若く見えました。

★「ラメール&ボラリスハーモニー」

ハーモニカアンサンブルの姉妹サークル。『アジア大会』出場や定期コンサート、福祉施設の訪問等を行っている実力派です。

《知床旅情》や《とんがり帽子》等。

★「カニカピラ」

ハワイアンサウンドとフラダンスチームの共演。南国ムードたっぷりでした。

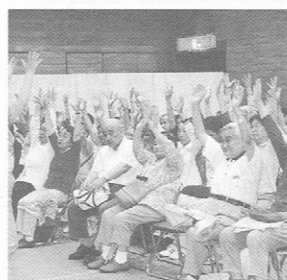
★「大庭八寿花会」

古典を基礎にした新日本舞踊。大変あでやかで艶っぽく粋な舞に皆ウットリしていました。素晴らしー！

市塚路子さんによる唄と体操コーナーの後、第2部です。

★「お楽しみ落語」

藤沢市役所落語研究会のお二人に名人芸を披露していただきました。参加者も長時間でしたが、熱心に聞いていました。



◎参加者の声です。

「大人になった気分です。」「美と健康のために、フラダンスでもやってみようかしら。」

「みんな素晴らしかったけど、それぞれの演目が多少長かったかも。」

◎役員の男性に「若さの秘訣は？」

と聞きましたら大変謙遜されて「人のお世話をさせて頂いている事かな。」笑顔が素敵な紳士でした。

『高齢者のつどい』というネーミングをどうかと思うほど、皆さんひと昔前より断然若々しくなったと思います。

今後も健康で明るく颯爽と長生きして頂きたいものです。

終了後は、皆さん足取り軽く帰路につきました。次回をお楽しみに！

★老人クラブ紹介⑧

「やむら銀鈴会」《滝の沢地区》

私たち銀鈴会は、西部開発による宅地分譲で移住してきた面々が主ですが、昔から居住されている方々とも仲良く生活を送っております。

仲間の出身地も北海道から九州まで日本列島を網羅しています。

二十数年前に愛好者による野球部が生まれ、そこから多くの方の努力により自治会館建設く老人会発足へと、発展してきました。

現在は、初日ノ出の「江の島参拝」に始まり、12月の納会まで20件以上の行事を毎月精力的に行っておりますが、それぞれの行事には精通したリーダーを置き、山海湖寺と健康増進に励んでおります。

今後とも自治会諸活動と連携を図りながら、楽しく元気に活動を続けていきたいと考えています。

会長 植田 稔

TEL 0466(88)1334

◆あとかぎ◆

今回は児童福祉の一環として、湘南大庭地区内で行われている子育て支援活動を集めました。皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。

K・H